

「青少年のための科学の祭典」千歳大会2016報告書

- 主催 青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会、(公財)日本科学技術振興財団・科学技術館
- 後援 文部科学省/経済産業省/全国科学館連携協議会/全国科学博物館協議会/**NHK**/日本物理教育学会/(一社)日本生物教育学会/日本地学教育学会/日本基礎化学教育学会/(一社)日本科学教育学会/(一社)日本理科教育学会/(一社)日本地質学会/(一社)日本生物物理学会/一般社団法人日本物理学会/(公社)応用物理学会/公益社団法人日本化学会/(一社)日本機械学会/(公社)日本アイソトープ協会/(公社)日本理科教育振興協会/(一財)日本私学教育研究所/(公社)日本植物学会/公益社団法人日本動物学会/(公社)日本天文学会/(公社)日本工学会/(一社)電気学会/日本エネルギー環境教育学会/千歳市/千歳市教育委員会/千歳商工会議所/千歳科学技術大学/日本航空専門学校/千歳青少年教育財団(サケのふるさと千歳水族館)/NPO 法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 協賛 千歳科学技術大学/学校法人日本航空学園日本航空専門学校/NPO 法人ホトニクスワールドコンソーシアム/株式会社カミノ/スギハラ薬局/博信堂/アイスクリーム花茶
- 会場 北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) (〒066-0036 北海道千歳市北栄2-2-11)
- 開催日時 平成28年11月6日(日) 10:00~15:00開催
- 来場者数 約1200人
- 実施内容

平成28年度で第11回となった千歳大会は、単に子どもたちの科学・技術に対する興味・関心を喚起することを目的とするだけでなく、保護者をはじめとする一般市民にもその面白さや不思議さを体感してもらって、幅広い年齢層の科学・技術への興味・関心を呼び起こすことを目的としています。街ぐるみで科学・技術を学ぼうとする雰囲気醸成されることを目指し、科学技術リテラシーにあふれる街の実現、科学を通じた街おこしを実現することが、大きな目的となっています。また、地元・千歳市に立地する企業にも出展を呼びかけ、企業と市民との間の橋渡し役の機能を果たすこともねらっています。

このような心がけの結果として、千歳大会の出展者は、学校・教育関係者から市民活動団体、企業などと多岐に渡るようになってきました。また、出展内容が自然科学分野に限らず、人文・社会科学分野も含めて広く「科学」に関わるブースが出展されることも、千歳大会の大きな特徴です。

平成28年度は、前年度に引き続いて千歳市の補助事業として開催しました。市の補助事業として実行委員会と市が協働することで、地元からの出展ブースを増やして、出展者の皆様に生涯学習の機会を提供することが期待されます。また、地域全体として科学を学ぶ機運に満ちている雰囲気が醸成されていることが産業の振興に結びつくような、さらなる相乗効果の実現も目指しています。今年度も市内団体・企業への出展依頼を心がけた結果、市内からは9団体(3企業)から計15ブースの出展があり、そのうち1団体(1ブース)が新規出展でした。また、全体では4団体(5ブース)の新規出展があり、新しい出展者を開拓することができました。

当日はあいにくの大雪となり、一部のブースが出展中止となりました。また、例年に比べて来場者の出足が悪く、来場者数は例年よりも大幅なダウンとなりました。しかし、それにもかかわらず、道内の他地区の科学の祭典に比べると多くの来場者が得られました。また、例年より各ブースが空いていたこともあり、より多くのブースを回ってそれぞれをゆっくり楽しんでもらうことができたと考えています。例えば、出展団体のうち特に高校生の引率の先生方からは、「会場が空いていたため生徒に他ブースを体験させることができた」という声がありました。この他、一般の出展者からも「日頃の活動の成果発表の機会として貴重な体験になった」

などの感想に加えて、「他団体との交流が例年以上に活発にできた」という声がありました。結果的には、来場者への啓発効果だけではなく、出展団体に対して、様々な学習の機会を提供する効果も得られたと考えています。

今年度の千歳大会でも、様々な分野の科学に対する興味・関心を育てる機会を提供するとともに、子どもから保護者・一般市民などの大人に至る幅広い年齢層を対象に科学技術に関する興味を醸成する機会にすることができたと考えています。また、子どもたちに対する啓発効果だけではなく、大人の来場者や出展団体に対して生涯学習の機会を提供する効果も得られたと考えています。

子どもたちの啓発だけではなく、幅広い年齢層に向けた啓発活動の実現や生涯学習の機会の提供、産業振興のきっかけの提供、さらに企業と市民との橋渡し役など、幅広い機能の実現を目指して、平成29年度も開催を継続する予定です。

□出展数 ブース・ステージ 当初予定は計35（当日の悪天候により4ブースが出展中止）

□出展タイトル一覧

- 1 放射線ってなに？
- 2 漂うポリ風船
- 3 ポリ風船を作ろう
- 4 空気ポンプの工作
- 5 ストロー鉄砲の工作
- 6 いろいろな素材で「季節の葉書」を作ってみよう
- 7 光と音の科学道具のサプライズ実験
- 8 かがみをつくろう
- 9 身近なもので電池を作ろう
- 10 スライムを作ろう
- 11 UVチェックビーズでアクセサリを作ろう
- 12 メビウスの帯を体験しよう
- 13 結晶構造模型を作ろう
- 14 魚のペーパークラフト
- 15 魚のパズル
- 16 おゆまるで簡単レプリカ作り
- 17 液体窒素と超伝導
- 18 LEDとカラーミキサー
- 19 LEDライトを作ろう
- 20 紙で電気回路を作ろう
- 21 人工イクラを作ろう
- 22 サケ皮クラフト作り
- 23 究極の千産千消～千歳の恵みだけで、食べていけるか
- 24 飛び続ける飛行機
- 25 ロボットアームとシミュレータを操縦しよう
- 26 レーシングカーを作ろう
- 27 光の三原色を使った技術の紹介
- 28 色つきの影で遊ぼう
- 29 偏光万華鏡を作ってみよう
- 30 LEDで光通信
- 31 アルミパイプとネオジム磁石でお手軽無重力
- 32 ANAパネル展示
- 33 ふしぎヒコーキ
- 34 千歳科学技術大学理工工房サイエンス教室「味覚のふしぎ」 3階視聴覚室10時30分～11時30分
- 35 ANA航空教室 3階視聴覚室13時15分～

- ⑩製作物
- ・実験解説集：B 5 版／表紙 1 色・中 1 色／ 2 6 ページ／製作部数：4 0 0 部
 - ・ポスター：A 2 版／カラー／製作部数：2 0 0 枚
 - ・チラシ：A 4 版／表紙 1 色、裏 1 色／製作部数：25000枚

⑪広報活動

開催案内のチラシは、教育委員会を通して、会場のある千歳市、ならびに近隣の恵庭市、北広島市の小・中学校各校に児童・生徒全員分を配布した。ポスターは、千歳市内の図書館、商業施設、駅などに掲示した。その他、広報ちとせ(市発行の広報冊子)、情報誌ちゃんと、情報誌いいね、千歳市民文化情報ひろば、などに開催告知を掲載した。